

分子腫瘍生物学連携講座 (千葉県がんセンター研究所)

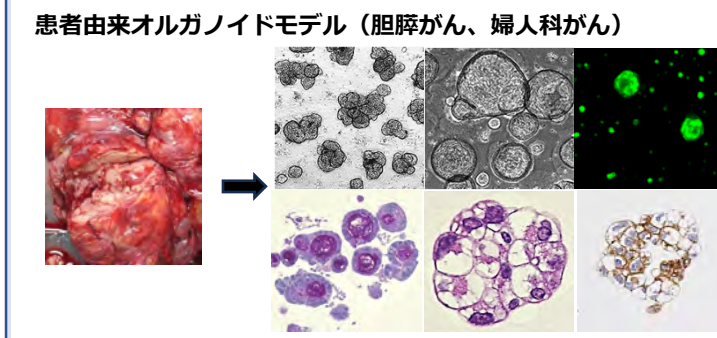
〒260-8717 千葉県千葉市中央区仁戸名町666-2 043-264-5431 (代) chiba_renkei@chiba-cc.jp

- 常勤職員18名および大学院生8名を含む総勢67名で研究を進めています。
- 4部門8研究室の構成で年間総額2-2.5億円の外部資金を獲得しています。
- がん専門病院併設の利点を活かし基礎と臨床の両方向の研究が可能です。
- 千葉県の後援で専門医も同時取得可能な研究医制度が設置されています。

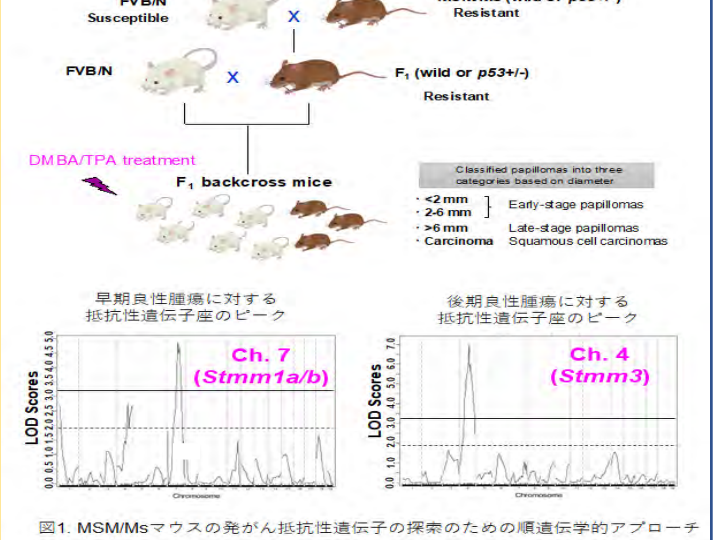


研究所長・筆宝義隆 (客員教授) がんゲノムセンター・若林雄一 (部長・客員教授)

(1)オルガノイド培養技術を用いた発がんモデルの確立による本態解明
 (2)患者由来がんオルガノイドを用いた創薬研究および精密医療の実装

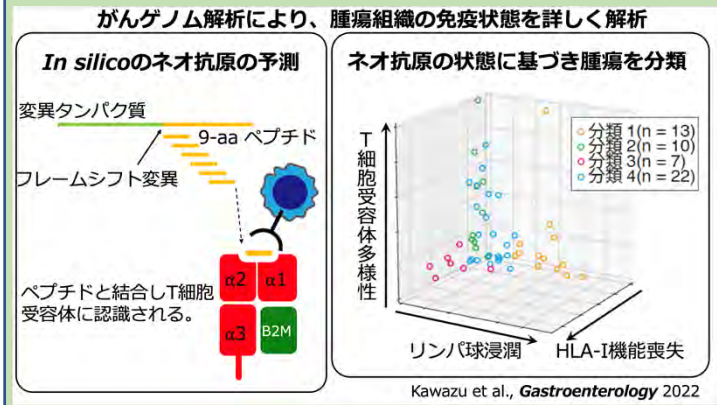


(1)マウス皮膚化学発がん過程で機能する経路、およびそれを標的とする化合物の探索



がん治療開発グループ・河津正人 (部長・客員准教授)

(1)ゲノム解析技術開発と実装 (ロングリード、シングルセルなど)
 (2)ゲノム解析とそれに基づく病態解明



実験者のデータ解析からインフォマティクスの解析まで、必要に応じたデータ解析技術を指導します。

発がん研究グループ・上久保靖彦 (部長・客員准教授)

(1)RUNX転写因子制御による難治性癌・希少癌制御法の開発
 (2)受精鶏卵モデルを用いた新規薬剤スクリーニング系の開発

遺伝子スイッチ法を基盤技術とした新規探索法及び革新的創薬の有効性と安全性の研究

★癌をまたがる細胞増殖抑制効果
 ★劇的な転移抑制

★免疫スイッチ
 ☆抗腫瘍免疫誘導
 ☆過剰免疫制御
 アレルギー制御
 GVGD制御
 ADE制御

劇的な転移抑制 免疫スイッチ法 癌への特異的集積

Chb-M⁺ 投与2週間→TNBC細胞移植→6週間後

DMSO投与群 Chb-M⁺ 投与群